# Ⅵ　支援事業等

## （１）水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

### 水田活用の直接支払交付金（1）

【平成30年度予算概算要求額：3,304（3,150）億円】

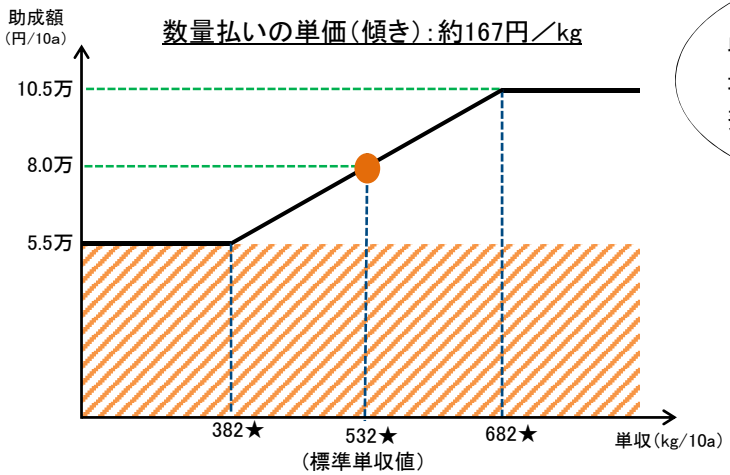
#### （１）支援内容

##### ①　戦略作物助成

| 対象作物 | 交付単価 |
|---|---|
| 麦、大豆、飼料作物 | 3.5万円／10a |
| WCS用稲 | 8.0万円／10a |
| 加工用米 | 2.0万円／10a |
| 飼料用米、米粉用米 | 収量に応じ、<br>5.5万円～10.5万円/10a |

※　子実用とうもろこし（飼料用）を含む

＜飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ＞



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量確認を受けていることを条件とします。
- ★は全国平均の平年単収（標準単収値）に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収（配分単収）を適用します。なお、各地域における標準単収値を当年産の作柄（作柄表示地帯別）に応じて調整します。

＜標準単収値の作柄調整の考え方＞

$$\text{標準単収値} = \text{配分単収} \times \frac{\text{当年産のふるい目1.70mm以上の10アール当たり収量}}{\text{ふるい目1.70mm以上の10アール当たり平年収量}}$$

（小数点以下切り上げ）

# 水田活用の直接支払交付金(2)

## ② 産地交付金

### 基本的運用

- 地域の作物振興の設計図となる「水田フル活用ビジョン」に基づき、高付加価値化や低コスト化を図りながら、地域の特色のある魅力的な産品の産地を創造するため、地域の裁量で活用可能な産地交付金により、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりに向けた取組を支援
- また、取組に応じた配分(下表参照)を都道府県に対して行う

| 対象作物 | 取組内容 | 配分単価 |
|---|---|---|
| 飼料用米、米粉用米 | 多収品種への取組 | 1.2万円/10a |
| 加工用米 | 複数年契約(3年間)の取組<br>※継続分のみ。 | 1.2万円/10a |
| そば、なたね | 作付の取組<br>※基幹作のみ。 | 2.0万円/10a |

上記のほか、以下の取組に応じた配分を都道府県に対して行う

① 転換作物拡大 (1.0万円/10a)
前年度実績よりも転換作物が拡大し、主食用米の作付面積が減少した場合に、その面積に応じて配分

② コメの新市場開拓 (2.0万円/10a)
内外の新市場の開拓を図る米穀の作付面積に応じて配分

③ 畑地化 (10.5万円/10a)
水田の畑地化面積 (交付対象水田からの除外面積) に応じて配分

# 水田活用の直接支払交付金の支払面積等（1）

- 支払対象者数は45万7千件で、平成27年度の支払実績と比べて2万1千件減少。
- 支払面積は、戦略作物全体では57万8千haと、平成27年度に比べて2万4千ha増加。
- 作物別には、
  （ア） 麦は、北海道、九州地方を中心に作付けがやや増加し、2千ha増の17万2千ha
  （イ） 大豆は、北海道、東北、北陸地方及び熊本県で作付けが増加し、3千ha増の11万6千ha
  （ウ） 飼料作物は、東北、九州地方を中心に作付けがやや増加、2千ha増の10万5千ha。
  （エ）新規需要米（WCS用稲、米粉用米、飼料用米）は、主食用米からの転換が全国的に進み、米粉用米を除いて作付けが増加、1万4千ha増の13万5千ha。
  （オ）加工用米は、4千ha増の5万ha。

## （1） 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

| | 支払対象者数（件） | 個人 | 法人 | 集落営農 |
|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 457,225 | 440,118 | 11,037 | 6,070 |
| 平成27年度 | 478,293 | 461,858 | 9,931 | 6,504 |
| 対前年度比較 | ▲ 21,068 | ▲ 21,740 | ＋ 1,106 | ▲ 434 |

## （2） 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積

### ① 基幹作物＋二毛作作物

（単位：ha）

| | 麦 | 大豆 | 飼料作物 | 新規需要米 | WCS用稲 | 米粉用米 | 飼料用米 | 加工用米 | 合計 | （参考）そば | なたね | 備蓄米 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 172,305 | 115,734 | 104,943 | 135,371 | 41,106 | 3,501 | 90,764 | 49,981 | 578,334 | 35,551 | 792 | 39,333 |
| 平成27年度 | 170,590 | 113,016 | 103,234 | 121,533 | 37,860 | 4,206 | 79,467 | 46,157 | 554,529 | 34,125 | 585 | 43,771 |
| 対前年度比較 | ＋ 1,715 | ＋ 2,718 | ＋ 1,709 | ＋ 13,839 | ＋ 3,246 | ▲ 705 | ＋ 11,298 | ＋ 3,824 | ＋ 23,805 | ＋ 1,426 | ＋ 207 | ▲ 4,438 |

### ② 基幹作物

（単位：ha）

| | 麦 | 大豆 | 飼料作物 | 新規需要米 | WCS用稲 | 米粉用米 | 飼料用米 | 加工用米 | 合計 | （参考）そば | なたね |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 99,365 | 87,941 | 72,441 | 135,370 | 41,105 | 3,501 | 90,764 | 47,817 | 442,935 | 26,038 | 649 |
| 平成27年度 | 98,950 | 85,805 | 72,176 | 121,528 | 37,860 | 4,206 | 79,462 | 44,098 | 422,556 | 25,019 | 471 |
| 対前年度比較 | ＋ 416 | ＋ 2,136 | ＋ 265 | ＋ 13,843 | ＋ 3,246 | ▲ 705 | ＋ 11,302 | ＋ 3,719 | ＋ 20,379 | ＋ 1,019 | ＋ 178 |

### ③ 二毛作作物

（単位：ha）

| | 麦 | 大豆 | 飼料作物 | 新規需要米 | WCS用稲 | 米粉用米 | 飼料用米 | 加工用米 | 合計 | （参考）そば | なたね |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 72,939 | 27,793 | 32,502 | 1 | 1 | － | 0 | 2,165 | 135,399 | 9,513 | 142 |
| 平成27年度 | 71,640 | 27,211 | 31,057 | 5 | － | － | 5 | 2,059 | 131,973 | 9,106 | 114 |
| 対前年度比較 | ＋ 1,299 | ＋ 582 | ＋ 1,445 | ▲ 4 | ＋ 1 | － | ▲ 5 | ＋ 105 | ＋ 3,427 | ＋ 407 | ＋ 29 |

## 水田活用の直接支払交付金の支払面積等(2)

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
  （ア） 米粉用米では、3千5百ha（7百ha減）、1万9千トン（4千トン減）542kg/10a。
  （イ） 飼料用米では、8万9千ha（1万1千ha増）、49万6千トン（6万4千トン増）、558kg/10a。

### （3） 米粉用米、飼料用米（数量払い分）の支払面積、支払数量、平均単収

| | 米粉用米 | | | 飼料用米 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 面積(ha) | 数量(t) | 単収(kg/10a) | 面積(ha) | 数量(t) | 単収(kg/10a) |
| 平成28年度 | 3,487 | 18,896 | 542 | 88,900 | 496,017 | 558 |
| 平成27年度 | 4,180 | 22,519 | 539 | 77,731 | 431,696 | 555 |
| 対前年度比較 | ▲ 693 | ▲ 3,623 | ＋ 3 | ＋ 11,168 | ＋ 64,321 | ＋ 3 |

注）飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」／「面積」により算定。
数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

### （4） 耕畜連携助成の支払面積

（単位：ha）

| | 飼料用米のわら利用 | 水田放牧 | 資源循環の取組 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 23,055 | 1,298 | 28,208 | 52,560 |
| 平成27年度 | 19,866 | 1,299 | 25,636 | 46,800 |
| 対前年度比較 | ＋ 3,189 | ▲ 1 | ＋ 2,572 | ＋ 5,760 |

## 米の直接支払交付金の支払面積等

- 支払対象者数は77万8千件で、平成27年度に比べて4万2千件減少。
- 支払面積は94万4千ha（10a控除前：102万6千ha）で、平成27年度に比べて9千ha減少。

### （5） 米の直接支払交付金の支払対象者数、支払面積

| | 支払対象者数（件） | 個人 | 法人 | 集落営農 | 支払面積（ha） | （参考）支払面積 10a控除前（ha） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 778,026 | 765,175 | 8,651 | 4,200 | 943,757 | 1,026,079 |
| 平成27年度 | 820,373 | 808,023 | 7,806 | 4,544 | 953,064 | 1,039,251 |
| 対前年度比較 | ▲ 42,347 | ▲ 42,848 | ＋ 845 | ▲ 344 | ▲ 9,307 | ▲ 13,172 |

## （2）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

- 諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付。

# 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【平成30年度予算概算要求額： 1,984（1,950）億円】

## （1）支援内容（数量払）

### ① 麦類

| 品質区分（等級/ランク） | 1等 | | | | 2等 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | A | B | C | D |
| 小麦（パン・中華麺用品種：60kg当たり） | 8,990円 | 8,490円 | 8,340円 | 8,280円 | 7,830円 | 7,330円 | 7,180円 | 7,120円 |
| 小麦（上記品種以外：60kg当たり） | 6,690円 | 6,190円 | 6,040円 | 5,980円 | 5,530円 | 5,030円 | 4,880円 | 4,820円 |
| 二条大麦（50kg当たり） | 5,520円 | 5,100円 | 4,980円 | 4,930円 | 4,660円 | 4,240円 | 4,110円 | 4,060円 |
| 六条大麦（50kg当たり） | 6,000円 | 5,580円 | 5,450円 | 5,400円 | 4,970円 | 4,550円 | 4,430円 | 4,380円 |
| はだか麦（60kg当たり） | 8,610円 | 8,110円 | 7,960円 | 7,870円 | 7,040円 | 6,540円 | 6,390円 | 6,310円 |

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分。A～Dランク：たんぱく質の含有率等の違いで区分

### ② 大豆

| 品質区分（等級） | 1等 | 2等 | 3等 |
|---|---|---|---|
| 普通大豆（60kg当たり） | 9,940円 | 9,250円 | 8,570円 |
| 特定加工用大豆（60kg当たり） | 7,890円 | | |

特定加工用：豆腐・油揚、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

### ③ そば

| 品質区分（等級） | 1等 | 2等 |
|---|---|---|
| 45kg当たり | 17,470円 | 15,360円 |

等級：容積重の違いや被害粒の割合で区分

### ④ なたね

| 品質区分（品種） | キザキノナタネ<br>キラリボシ<br>ナナシキブ | その他の品種 |
|---|---|---|
| 60kg当たり | 9,940円 | 9,200円 |

### ⑤ てん菜

| 品質区分（糖度） | ←（＋0.1度） | 16.3度 | →（▲0.1度） |
|---|---|---|---|
| 1t当たり | ＋ 62円 | 7,180円 | ▲ 62円 |

糖度：てん菜の重量に対するショ糖の含有量

### ⑥ でん粉原料用ばれいしょ

| 品質区分（でん粉含有率） | ←（＋0.1%） | 19.5% | →（▲0.1%） |
|---|---|---|---|
| 1t当たり | ＋ 64円 | 11,610円 | ▲ 64円 |

でん粉含有率：ばれいしょの重量に対するでん粉の含有量

## （2）支援内容（面積払（営農継続支払））

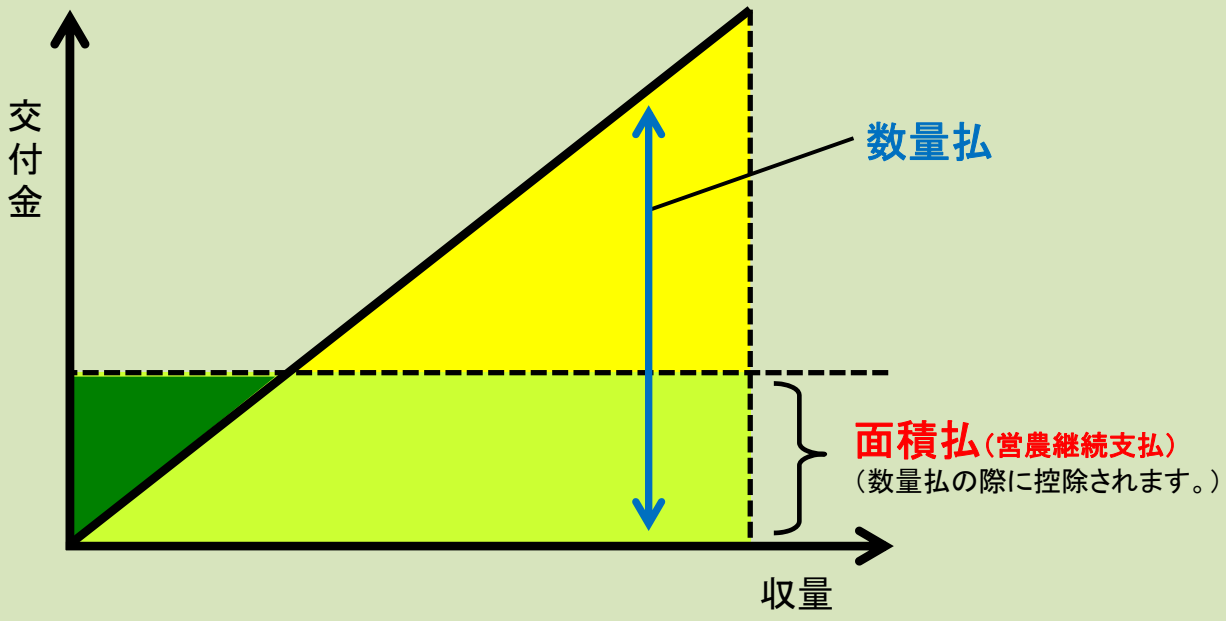
### ① 交付対象面積

当年産の作付面積に応じて交付

### ② 交付単価

10a当たり2万円
※「そば」は、10aあたり1万3千円

### ③ 数量払と面積払（営農継続支払）の関係




### 交付対象者

※ 交付対象者に変更ありません。

認定農業者、集落営農、認定新規就農者
（いずれも規模要件は課しません。）

### 対象作物

麦、大豆、そば、なたね
てん菜、でん粉原料用ばれいしょ（北海道産のみ）
（ビール用麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象外）

# （３）　米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

## 米･畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

【平成30年度予算概算要求額:816(746)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家拠出を伴う経営に着目したセーフティーネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

### （１）交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※　集落営農の要件は、２要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

### （２）対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

※１　ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
※２　てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

【10a当たり標準的収入額とは】
通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

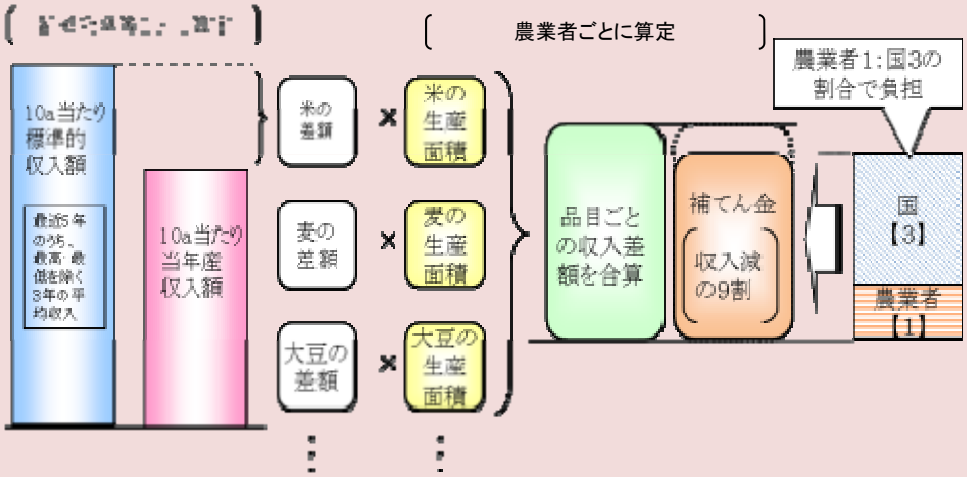
【10a当たり当年産収入額とは】
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

### （３）ナラシ対策の仕組み

○　農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の９割を補てんします。

**補てん額　＝（標準的収入額－当年産収入額）×０．９**

○　補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
○　このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の拠出が必要となります。
○　補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



# （参考）平成２７年産ナラシ対策の支払い実績（平成２８年８月31日現在）

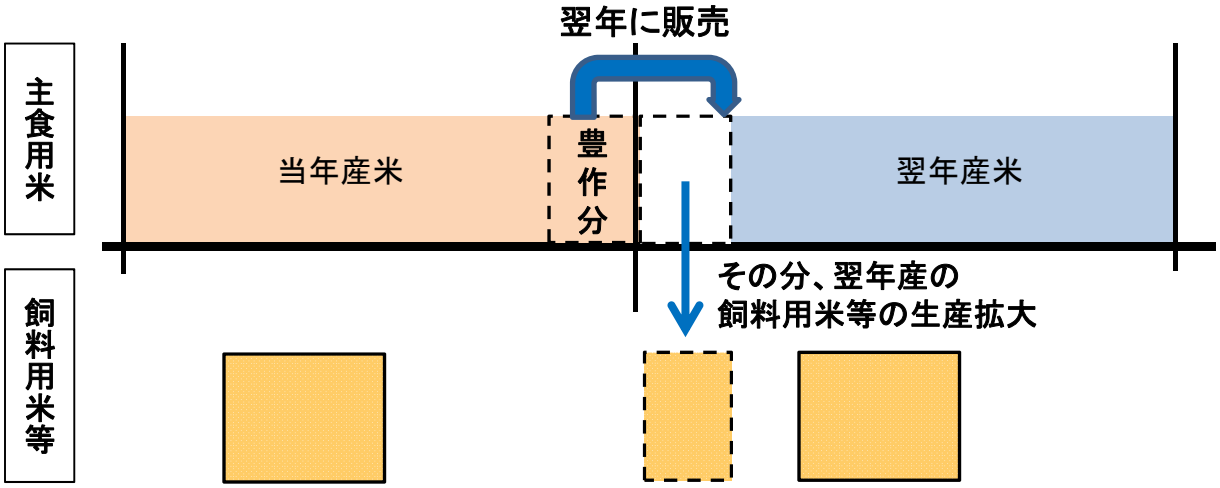
| 全国・都道府県 | | 加入件数（件） | 支払件数（件） | 補てん総額（億円） | （参考１）※ 米の10a当たり補てん単価（円/10a） | （参考２）※ 米加入面積10haの場合の補てん額の推計（万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国 | | 108,733 | 93,891 | 332.33 | 9,418 | 94 |
| 北海道 | | 19,968 | 8,872 | 29.14 | 4,283 | 42 |
| 東北 | 青森県 | 5,283 | 4,993 | 9.89 | 6,995 | 69 |
| | 岩手県 | 3,381 | 3,175 | 8.20 | 5,086 | 50 |
| | 宮城県 | 4,340 | 4,229 | 19.98 | 7,931 | 79 |
| | 秋田県 | 8,746 | 8,441 | 19.52 | 5,943 | 59 |
| | 山形県 | 7,698 | 7,451 | 7.86 | 2,893 | 28 |
| | 福島県 | 4,779 | 4,642 | 17.42 | 12,005 | 120 |
| 関東 | 茨城県 | 3,263 | 3,074 | 14.42 | 17,913 | 179 |
| | 栃木県 | 5,141 | 4,989 | 20.47 | 13,354 | 133 |
| | 群馬県 | 958 | 931 | 1.79 | 2,502 | 25 |
| | 埼玉県 | 1,265 | 1,188 | 2.62 | 10,642 | 106 |
| | 千葉県 | 1,082 | 1,050 | 5.63 | 16,495 | 164 |
| | 東京都 | 4 | 3 | 0.00 | 8,568 | 85 |
| | 神奈川県 | 125 | 121 | 0.14 | 10,647 | 106 |
| | 山梨県 | 137 | 123 | 0.28 | 11,545 | 115 |
| | 長野県 | 1,412 | 1,344 | 10.01 | 15,093 | 150 |
| | 静岡県 | 338 | 328 | 2.71 | 12,411 | 124 |
| 北陸 | 新潟県 | 12,617 | 12,440 | 53.45 | 11,598 | 115 |
| | 富山県 | 1,509 | 1,320 | 6.08 | 5,788 | 57 |
| | 石川県 | 1,776 | 1,719 | 10.03 | 10,702 | 107 |
| | 福井県 | 1,172 | 1,094 | 6.78 | 9,079 | 90 |
| 東海 | 岐阜県 | 681 | 654 | 4.26 | 9,270 | 92 |
| | 愛知県 | 641 | 608 | 6.57 | 9,900 | 99 |
| | 三重県 | 933 | 913 | 6.00 | 10,133 | 101 |
| 近畿 | 滋賀県 | 2,406 | 2,363 | 13.19 | 12,606 | 126 |
| | 京都府 | 334 | 306 | 0.88 | 9,878 | 98 |
| | 大阪府 | 29 | 25 | 0.01 | 9,081 | 90 |
| | 兵庫県 | 1,095 | 916 | 1.45 | 7,844 | 78 |
| | 奈良県 | 91 | 85 | 0.14 | 14,604 | 146 |
| | 和歌山県 | 77 | 68 | 0.04 | 8,207 | 82 |
| 中国・四国 | 鳥取県 | 435 | 391 | 1.95 | 12,343 | 123 |
| | 島根県 | 749 | 734 | 4.83 | 11,895 | 118 |
| | 岡山県 | 903 | 865 | 3.34 | 15,352 | 153 |
| | 広島県 | 545 | 516 | 3.82 | 10,839 | 108 |
| | 山口県 | 845 | 817 | 2.84 | 7,483 | 74 |
| | 徳島県 | 231 | 208 | 0.40 | 13,037 | 130 |
| | 香川県 | 563 | 540 | 3.18 | 13,662 | 136 |
| | 愛媛県 | 644 | 615 | 2.29 | 15,634 | 156 |
| | 高知県 | 283 | 270 | 0.48 | 11,126 | 111 |
| 九州 | 福岡県 | 1,995 | 1,924 | 9.15 | 6,103 | 61 |
| | 佐賀県 | 1,613 | 1,554 | 7.26 | 5,236 | 52 |
| | 長崎県 | 862 | 772 | 0.51 | 3,795 | 37 |
| | 熊本県 | 3,569 | 3,350 | 6.53 | 6,843 | 68 |
| | 大分県 | 1,410 | 1,306 | 2.74 | 10,157 | 101 |
| | 宮崎県 | 1,791 | 1,601 | 2.27 | 14,072 | 140 |
| | 鹿児島県 | 919 | 873 | 1.74 | 6,962 | 69 |
| 沖縄県 | | 95 | 90 | 0.05 | 2,052 | 20 |

（注１）　加入件数は、平成27年７月31日時点の積立金納付者の件数である。
（注２）　ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。
※　米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、（参考２）の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、１万円未満は切り捨てている。

## （4）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

### ①　主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：30年度予算概算要求額 50億円（対前年同額））
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。
（水田活用の直接支払交付金：30年度予算概算要求額 3,304億円（対前年＋154億円））




### ②　米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

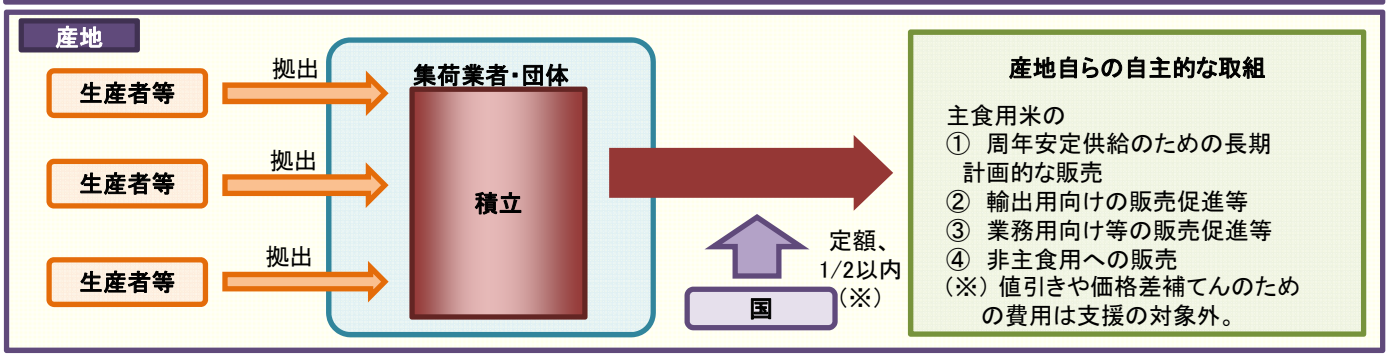
- 業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催に対して支援。
- 産地の自主的な取組により、需要に応じた生産・販売が行われる環境整備を図る観点から、気象の影響等により必要が生じた場合には、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施する体制を構築していくことが必要。
- あらかじめ生産者等が積立てを行い、産地の取組を実施する場合に国も一定の支援。

**全国事業**　産地と中食・外食事業者等との安定取引に向けたマッチングの取組を支援（定額）

民間団体が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けたセミナー、展示商談会を支援。
→　生産者と実需者の連携（マッチング）促進による安定供給の拡大

〔業務用米取引セミナー〕

〔展示商談会〕




また、取引参加者の利便性を向上させるため、現物市場が共同でシステムの開発・導入を行う場合等に支援。

## ③　米穀周年供給・需要拡大支援事業活用状況

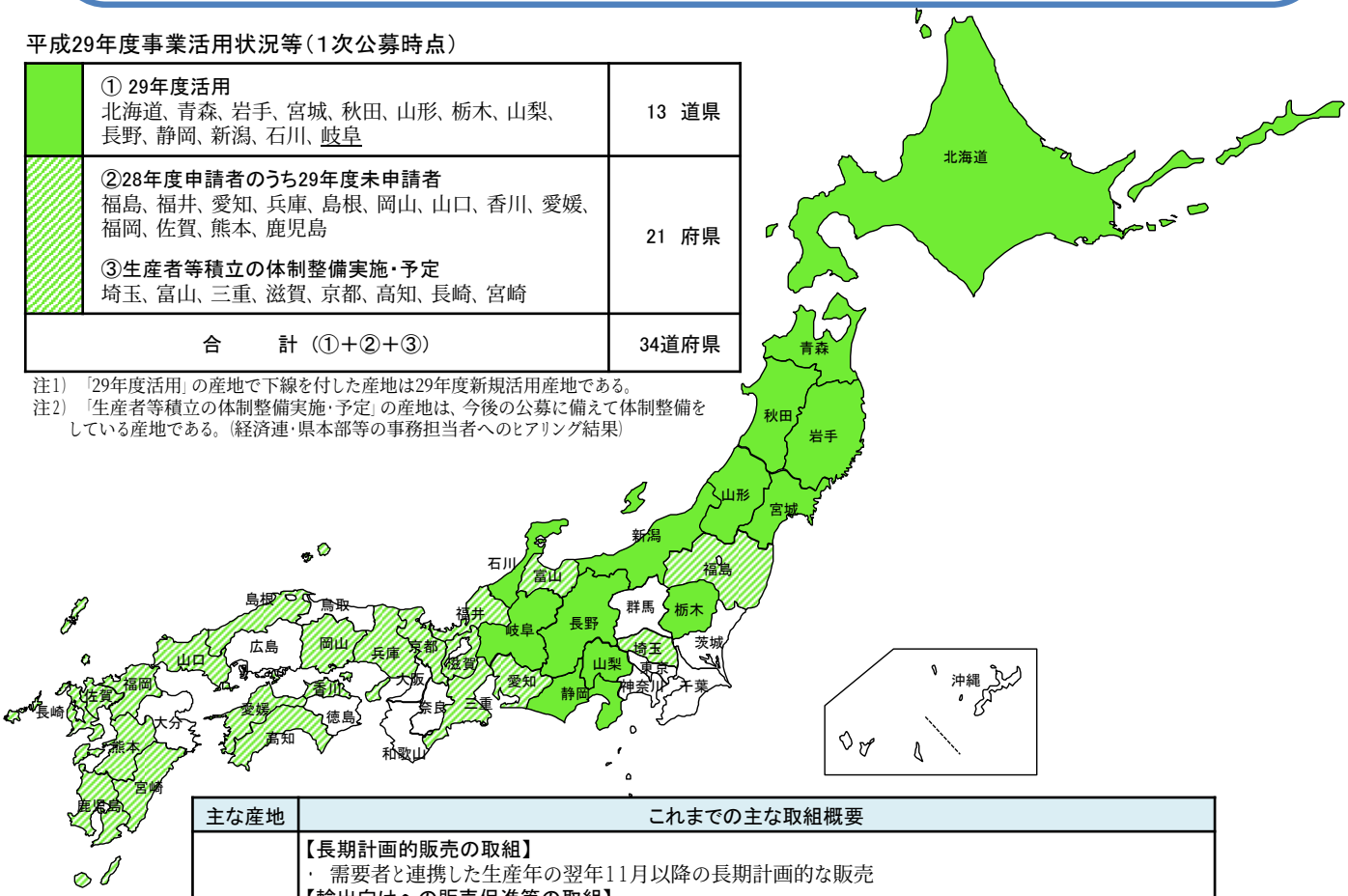
米穀周年供給・需要拡大支援事業の各産地の活用状況は、

- 平成27年度では17道県（18事業者）、平成28年度では25道県（27事業者）が活用。
- 平成29年度は１次公募において13道県（15事業者）が活用。現在、追加公募の審査中であり、出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続･推進。

平成29年度事業活用状況等（1次公募時点）

| | | |
|---|---|---|
| | ① 29年度活用<br>北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、岐阜 | 13　道県 |
| | ②28年度申請者のうち29年度未申請者<br>福島、福井、愛知、兵庫、島根、岡山、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、熊本、鹿児島<br>③生産者等積立の体制整備実施･予定<br>埼玉、富山、三重、滋賀、京都、高知、長崎、宮崎 | 21　府県 |
| 合　　計（①＋②＋③） | | 34道府県 |

注1）「29年度活用」の産地で下線を付した産地は29年度新規活用産地である。
注2）「生産者等積立の体制整備実施･予定」の産地は、今後の公募に備えて体制整備をしている産地である。（経済連･県本部等の事務担当者へのヒアリング結果）




| 主な産地 | これまでの主な取組概要 |
|---|---|
| 北海道 | **【長期計画的販売の取組】**<br>・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売<br>**【輸出向けへの販売促進等の取組】**<br>・ 海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布<br>**【業務用向け等への販売促進等の取組】**<br>・ キャラクター（マツコ･デラックス）を用いた各種メディア及びイベントを活用した「ゆめぴりか」のPR<br>・ 認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討 |
| 秋田 | **【長期計画的な販売の取組】**<br>・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売<br>**【業務用向け等への販売促進等の取組】**<br>・ キャラクター（小芝 風花）を用いた各種メディア及びイベントを活用した「あきたこまち」のPR<br>・ 食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布<br>・ 外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施 |
| 山形 | **【輸出向けへの販売促進等の取組】**<br>・ 海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬき」PRキャンペーンの開催<br>**【業務用向け等への販売促進等の取組】**<br>・ キャラクター（V6　長野 博）を用いた各種メディア及びイベントを活用した「はえぬき」のPR<br>・ 販路拡大に向けたコンサルティング活動 |
| 栃木 | **【長期計画的な販売の取組】**<br>・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売<br>**【業務用向け等への販売促進等の取組】**<br>・ 地元出身書道家（涼 風花）を用いた各種メディア及びイベントを活用した「とちほのか」のPR<br>・ 公共交通機関のラッピングバス等を活用したPR |
| 石川 | **【長期計画的販売の取組】**<br>・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売<br>**【輸出向けへの販売促進等の取組】**<br>・ 現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布<br>**【業務用向け等への販売促進等の取組】**<br>・ 各種メディアを活用した石川県産米のPR<br>・ 毎月2日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催 |

# Ⅵ　消費動向

## （1）　米の消費動向（米穀機構による調査）

○　本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

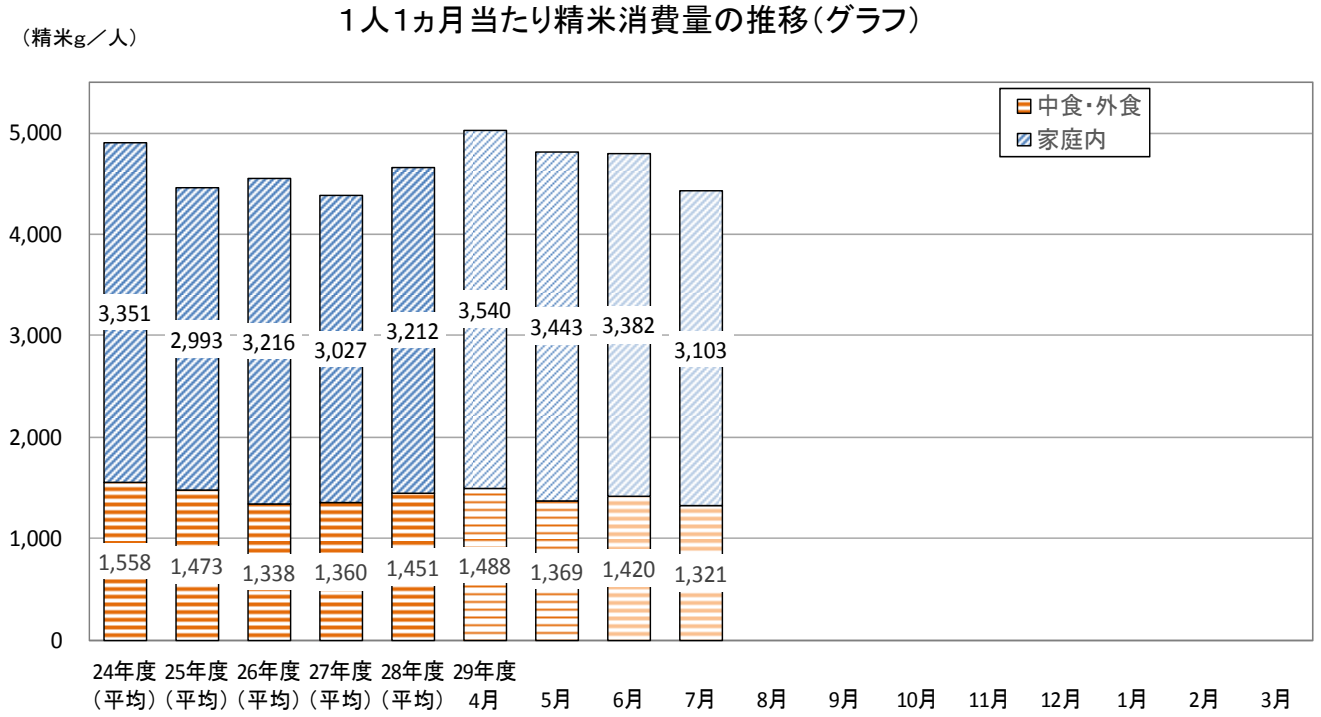
- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成29年7月)によると、１人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で▲1.9%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で＋2.6%、中・外食は同▲11.2%。

### ①　１人１ヵ月当たり精米消費量の推移

（精米g／人、%）

| | | 精米消費量 | | | | | 内訳(比率) | | | | | 前年同月比(比率) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 家庭内 | 中・外食 | | | 合計 | 家庭内 | 中・外食 | | | 合計 | 家庭内 | 中・外食 | | |
| | | | | | 中食 | 外食 | | | | 中食 | 外食 | | | | 中食 | 外食 |
| 24年度 | － | 4,909 | 3,351 | 1,558 | 900 | 658 | 100.0 | 68.3 | 31.7 | 18.3 | 13.4 | 1.4 | 4.4 | ▲ 4.4 | ▲ 3.1 | ▲ 6.1 |
| 25年度 | － | 4,466 | 2,993 | 1,473 | 846 | 627 | 100.0 | 67.0 | 33.0 | 18.9 | 14.0 | ▲ 9.0 | ▲ 10.7 | ▲ 5.5 | ▲ 6.0 | ▲ 4.7 |
| 26年度 | － | 4,554 | 3,216 | 1,338 | 758 | 580 | 100.0 | 70.6 | 29.4 | 16.6 | 12.7 | 2.0 | 7.5 | ▲ 9.2 | ▲ 10.4 | ▲ 7.5 |
| 27年度 | － | 4,386 | 3,027 | 1,360 | 793 | 567 | 100.0 | 69.0 | 31.0 | 18.1 | 12.9 | ▲ 3.7 | ▲ 5.9 | 1.6 | 4.6 | ▲ 2.2 |
| 28年度 | － | 4,663 | 3,212 | 1,451 | 852 | 599 | 100.0 | 68.9 | 31.1 | 18.3 | 12.8 | 6.3 | 6.1 | 6.7 | 7.4 | 5.6 |
| 29年度 | 4月 | 5,028 | 3,540 | 1,488 | 908 | 580 | 100.0 | 70.4 | 29.6 | 18.1 | 11.5 | 0.5 | 3.4 | ▲ 5.9 | ▲ 4.2 | ▲ 8.4 |
| | 5月 | 4,812 | 3,443 | 1,369 | 833 | 536 | 100.0 | 71.6 | 28.4 | 17.3 | 11.1 | ▲ 1.2 | 3.0 | ▲ 10.1 | ▲ 9.0 | ▲ 11.8 |
| | 6月 | 4,802 | 3,382 | 1,420 | 871 | 549 | 100.0 | 70.4 | 29.6 | 18.1 | 11.4 | ▲ 0.1 | 3.6 | ▲ 7.7 | ▲ 5.3 | ▲ 11.2 |
| | 7月 | 4,424 | 3,103 | 1,321 | 751 | 570 | 100.0 | 70.1 | 29.9 | 17.0 | 12.9 | ▲ 1.9 | 2.6 | ▲ 11.2 | ▲ 13.9 | ▲ 7.3 |

１人1ヵ月当たり精米消費量の推移（グラフ）

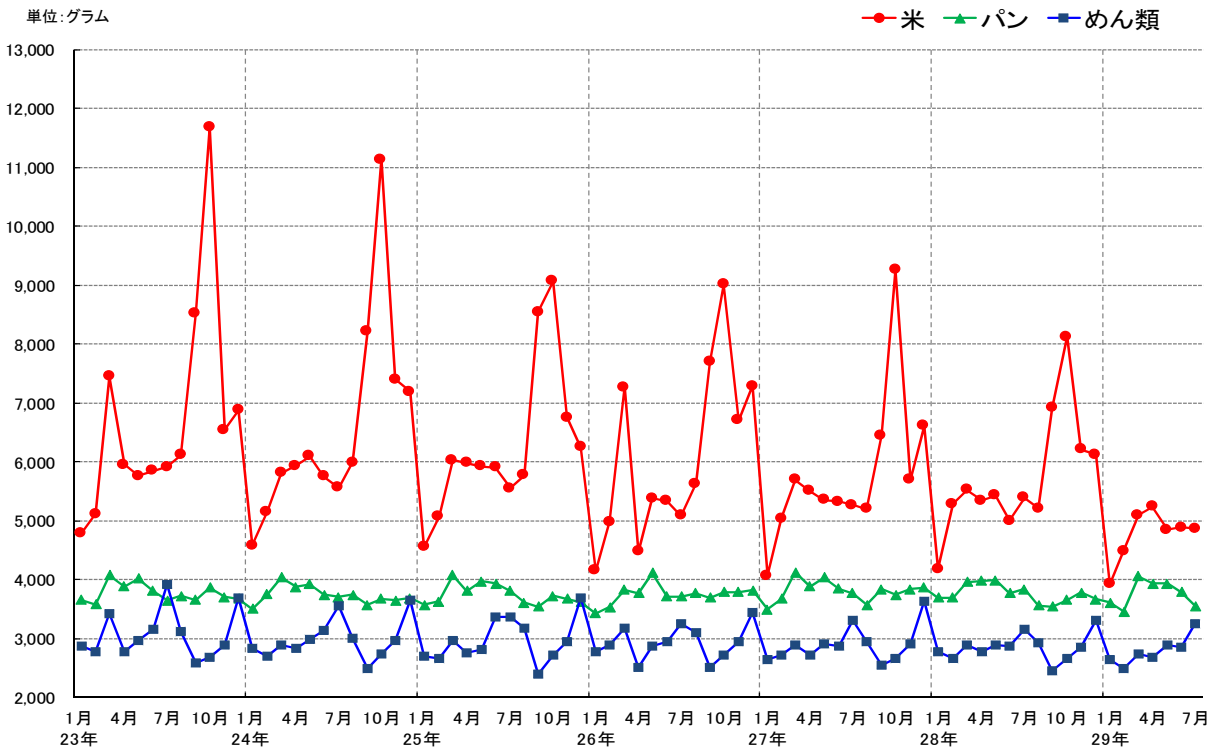



出典：　米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：１　平成29年7月分の有効調査世帯数は1,759世帯。
　　２　調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。
　　３　家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。
　　４　集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。
　　５　四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

## （2）　購入数量の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、平成29年7月の米の購入数量は、前年同月との比較で▲9.8%の4.9kg、パンについては▲7.4%の3.5kg、めん類については＋3.2%の3.3kg。

1世帯当たり購入数量の推移




（表）1世帯当たり購入数量の推移

（単位：グラム）

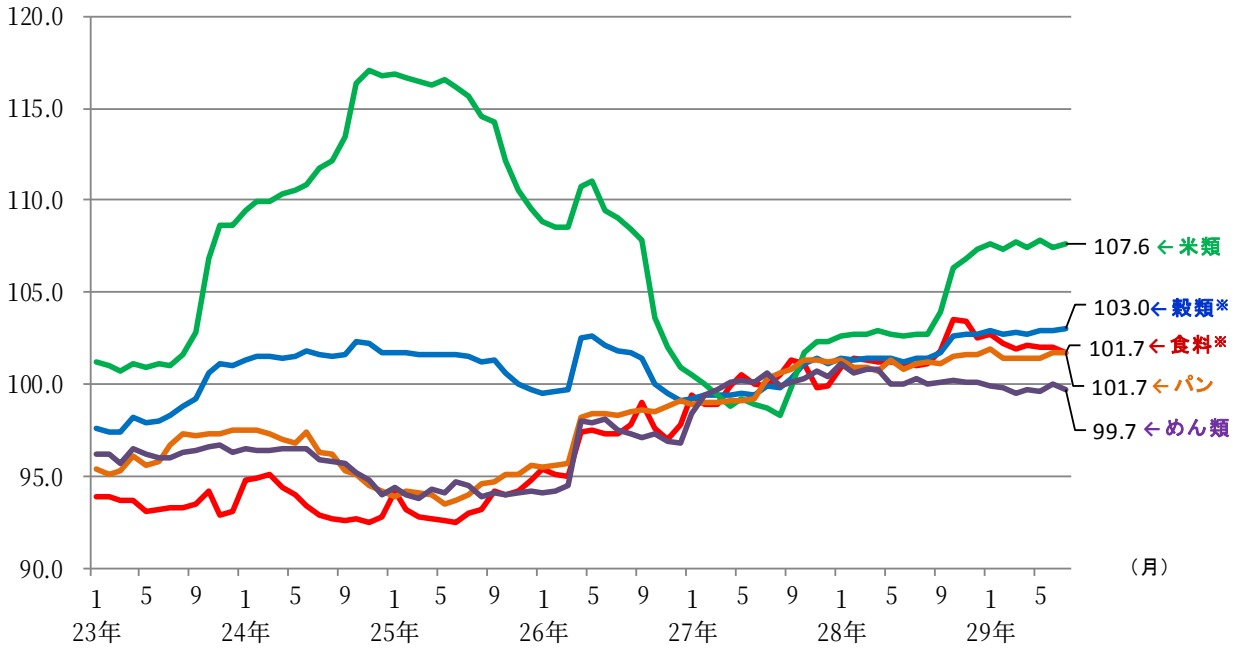
| | 米 | | パン | | めん類 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 購入数量 | 対前年(同月)比 | 購入数量 | 対前年(同月)比 | 購入数量 | 対前年(同月)比 |
| 平成20年 | 88,550 | 103.8% | 44,445 | 98.2% | 35,899 | 101.2% |
| 平成21年 | 85,110 | 96.1% | 45,599 | 102.6% | 36,615 | 102.0% |
| 平成22年 | 83,010 | 97.5% | 45,443 | 99.7% | 37,000 | 101.1% |
| 平成23年 | 80,580 | 97.1% | 45,255 | 99.6% | 36,931 | 99.8% |
| 平成24年 | 78,780 | 97.8% | 44,808 | 99.0% | 35,819 | 97.0% |
| 平成25年 | 75,170 | 95.4% | 44,927 | 100.3% | 35,560 | 99.3% |
| 平成26年 | 73,050 | 97.2% | 44,926 | 100.0% | 35,176 | 98.9% |
| 平成27年 | 69,510 | 95.2% | 45,676 | 101.7% | 34,753 | 98.8% |
| 平成28年 | 68,740 | 98.9% | 45,099 | 98.7% | 34,192 | 98.4% |
| 平成29年1月 | 3,920 | 93.8% | 3,607 | 97.7% | 2,637 | 95.2% |
| 2月 | 4,480 | 84.8% | 3,457 | 93.6% | 2,496 | 93.8% |
| 3月 | 5,090 | 92.2% | 4,056 | 102.4% | 2,725 | 94.4% |
| 4月 | 5,230 | 97.9% | 3,929 | 98.8% | 2,685 | 96.7% |
| 5月 | 4,840 | 89.1% | 3,925 | 98.3% | 2,882 | 99.9% |
| 6月 | 4,880 | 97.6% | 3,790 | 100.6% | 2,846 | 99.5% |
| 7月 | 4,860 | 90.2% | 3,548 | 92.6% | 3,254 | 103.2% |

資料：　総務省「家計調査」
注：1　二人以上の世帯の数値である。
　　2　平成20年から平成28年については、年間の購入数量を示す。
　　3　米は精米ベースである。

## （3）　消費者物価指数（27年基準）の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成29年7月の米類の指数は、先月との比較では＋0.2の107.6ポイント。
- なお、前年同月との比較では＋4.8ポイント。

### 消費者物価指数の推移




注：1　図中の実線は、平成27年の平均価格を100とした数値となる。
　　2　図中の数値は、平成29年7月の消費者物価指数となる。
　　3　図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

### （表）消費者物価指数の推移（対前年同月比）

（平成27年＝100、指数）

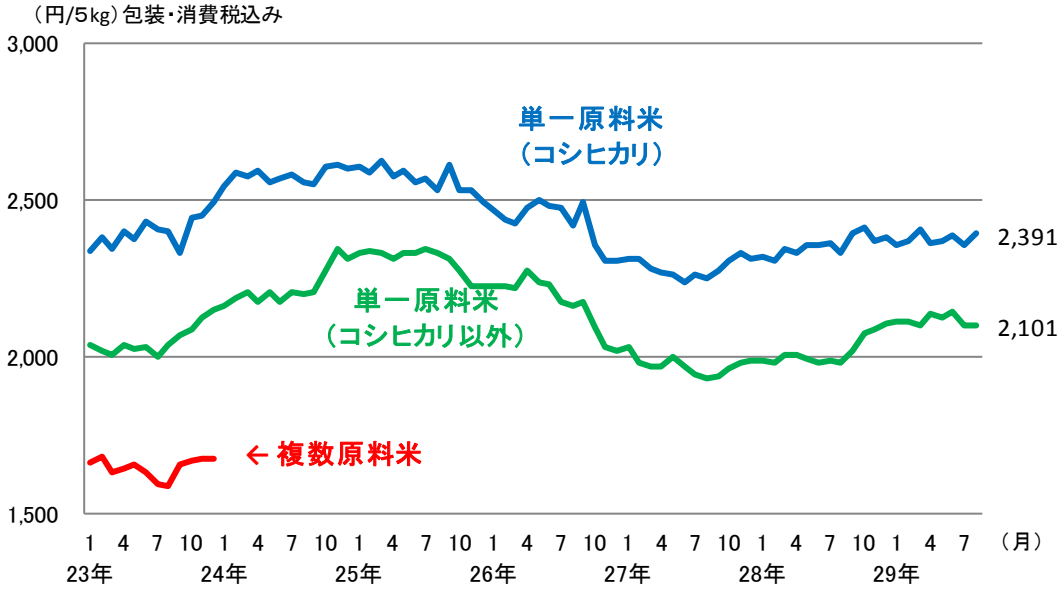
| | 食料 | 対前年(同月)比 | 穀類 | 対前年(同月)比 | 米類 | 対前年(同月)比 | うるち米 | 対前年(同月)比 | パン | 対前年(同月)比 | めん類 | 対前年(同月)比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成20年 | 93.9 | 2.6% | 102.9 | 6.4% | 110.7 | ▲1.3% | 111.4 | ▲1.3% | 99.8 | 12.6% | 97.2 | 11.7% |
| 平成21年 | 94.1 | 0.2% | 103.7 | 0.8% | 111.1 | 0.4% | 111.6 | 0.2% | 100.1 | 0.3% | 98.8 | 1.7% |
| 平成22年 | 93.9 | ▲0.3% | 100.4 | ▲3.2% | 107.2 | ▲3.5% | 107.7 | ▲3.5% | 96.2 | ▲3.9% | 97.0 | ▲1.9% |
| 平成23年 | 93.5 | ▲0.4% | 98.8 | ▲1.6% | 103.0 | ▲4.0% | 103.4 | ▲4.0% | 96.4 | 0.2% | 96.2 | ▲0.8% |
| 平成24年 | 93.6 | 0.1% | 101.7 | 3.0% | 112.4 | 9.2% | 113.3 | 9.6% | 96.3 | ▲0.1% | 95.8 | ▲0.4% |
| 平成25年 | 93.4 | ▲0.1% | 101.2 | ▲0.5% | 114.6 | 2.0% | 115.7 | 2.1% | 94.4 | ▲1.9% | 94.2 | ▲1.7% |
| 平成26年 | 97.0 | 3.8% | 100.8 | ▲0.4% | 107.4 | ▲6.3% | 107.9 | ▲6.8% | 97.8 | 3.6% | 96.6 | 2.6% |
| 平成27年 | 100.0 | 3.1% | 100.0 | ▲0.8% | 100.0 | ▲6.9% | 100.0 | ▲7.3% | 100.0 | 2.2% | 100.0 | 3.5% |
| 平成28年 | 101.7 | 1.7% | 101.7 | 1.7% | 103.8 | 3.8% | 104.0 | 4.0% | 101.2 | 1.2% | 100.3 | 0.3% |
| 平成29年1月 | 102.7 | 1.8% | 102.9 | 1.5% | 107.6 | 4.9% | 108.0 | 5.2% | 101.9 | 0.5% | 99.9 | ▲1.1% |
| 2月 | 102.2 | 0.8% | 102.7 | 1.4% | 107.3 | 4.5% | 107.6 | 4.7% | 101.4 | 0.5% | 99.8 | ▲0.8% |
| 3月 | 101.9 | 0.5% | 102.8 | 1.3% | 107.7 | 4.9% | 108.1 | 5.1% | 101.4 | 0.6% | 99.5 | ▲1.3% |
| 4月 | 102.1 | 0.9% | 102.7 | 1.3% | 107.4 | 4.4% | 107.7 | 4.7% | 101.4 | 0.7% | 99.7 | ▲1.0% |
| 5月 | 102.0 | 0.8% | 102.9 | 1.4% | 107.8 | 5.0% | 108.1 | 5.3% | 101.4 | 0.1% | 99.6 | ▲0.4% |
| 6月 | 102.0 | 0.8% | 102.9 | 1.7% | 107.4 | 4.6% | 107.7 | 4.9% | 101.7 | 0.9% | 100.0 | ▲0.1% |
| 7月 | 101.7 | 0.6% | 103.0 | 1.5% | 107.6 | 4.8% | 107.9 | 5.0% | 101.7 | 0.6% | 99.7 | ▲0.5% |

資料：　総務省「消費者物価指数」（平成27年基準）
注：1　表中の数値は、平成27年の平均価格を100として指数化したものである。
　　2　食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
　　3　穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
　　4　平成20年から平成28年のデータは年平均、平成29年1月以降は月次データを用いている。

## （4）　小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成29年8月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前年同月より＋2.5%の2,391円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前年同月より＋6.1%の2,101円。

（図）小売物価統計の推移




注：図中の数値は、平成29年8月の価格となる。

（表）小売物価統計の推移

（単位：円/5kg）

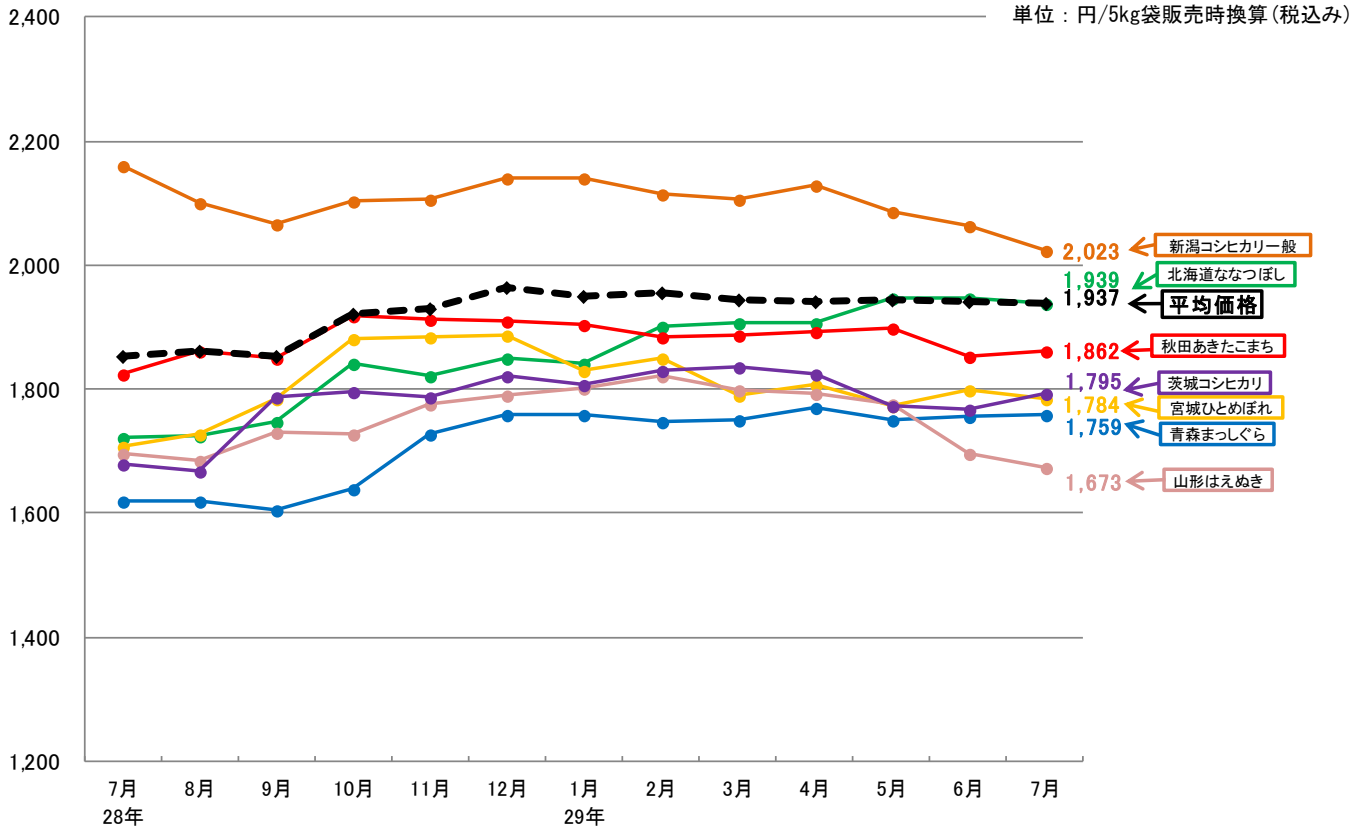
| | うるち米 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 単一原料米（コシヒカリ） | 対前年（同月）比 | 単一原料米（コシヒカリ以外） | 対前年（同月）比 | 複数原料米 |
| 平成20年 | 2,610 | ▲2.2% | 2,270 | ▲0.8% | 1,832 |
| 平成21年 | 2,531 | ▲3.0% | 2,201 | ▲3.0% | 1,812 |
| 平成22年 | 2,462 | ▲2.7% | 2,136 | ▲3.0% | 1,739 |
| 平成23年 | 2,399 | ▲2.5% | 2,053 | ▲3.9% | 1,649 |
| 平成24年 | 2,577 | 7.4% | 2,223 | 8.3% | － |
| 平成25年 | 2,567 | ▲0.4% | 2,307 | 3.8% | － |
| 平成26年 | 2,428 | ▲5.4% | 2,173 | ▲5.8% | － |
| 平成27年 | 2,285 | ▲5.9% | 1,973 | ▲9.2% | － |
| 平成28年 | 2,355 | 3.1% | 2,019 | 2.3% | － |
| 平成29年1月 | 2,355 | 1.6% | 2,111 | 6.1% | － |
| 2月 | 2,370 | 2.6% | 2,112 | 6.7% | |
| 3月 | 2,406 | 2.7% | 2,100 | 4.6% | － |
| 4月 | 2,362 | 1.4% | 2,137 | 6.6% | － |
| 5月 | 2,371 | 0.6% | 2,124 | 6.5% | － |
| 6月 | 2,385 | 1.2% | 2,143 | 8.0% | － |
| 7月 | 2,359 | 0.0% | 2,098 | 5.4% | － |
| 8月 | 2,391 | 2.5% | 2,101 | 6.1% | － |

資料：総務省「小売物価統計」
注１：東京都区部の数値である。
　２：特売を除いた価格である。
　３：精米ベースである。
　４：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

## （5）　小売価格の推移（ＰＯＳデータ）

平成29年７月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より▲4円（▲0.2%）、前年同月より＋85円（＋4.6%）の1,937円。

（図）小売価格の推移




（表）小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

| | 品種銘柄 | | | | | | | 全POS取引平均価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道ななつぼし | 青森まっしぐら | 宮城ひとめぼれ | 秋田あきたこまち | 山形はえぬき | 茨城コシヒカリ | 新潟コシヒカリ一般 | |
| 28年7月 | 1,721 | 1,621 | 1,707 | 1,826 | 1,697 | 1,679 | 2,160 | 1,852 |
| 8月 | 1,725 | 1,620 | 1,729 | 1,860 | 1,685 | 1,667 | 2,101 | 1,862 |
| 9月 | 1,746 | 1,604 | 1,785 | 1,849 | 1,732 | 1,789 | 2,065 | 1,853 |
| 10月 | 1,842 | 1,639 | 1,882 | 1,919 | 1,729 | 1,796 | 2,103 | 1,921 |
| 11月 | 1,823 | 1,727 | 1,885 | 1,913 | 1,776 | 1,788 | 2,106 | 1,931 |
| 12月 | 1,850 | 1,760 | 1,887 | 1,910 | 1,792 | 1,821 | 2,140 | 1,963 |
| 29年1月 | 1,843 | 1,759 | 1,830 | 1,905 | 1,802 | 1,808 | 2,141 | 1,949 |
| 2月 | 1,902 | 1,749 | 1,852 | 1,885 | 1,821 | 1,831 | 2,114 | 1,957 |
| 3月 | 1,907 | 1,751 | 1,792 | 1,887 | 1,798 | 1,835 | 2,105 | 1,945 |
| 4月 | 1,908 | 1,771 | 1,807 | 1,894 | 1,793 | 1,824 | 2,128 | 1,941 |
| 5月 | 1,948 | 1,750 | 1,775 | 1,898 | 1,776 | 1,773 | 2,086 | 1,944 |
| 6月 | 1,948 | 1,755 | 1,799 | 1,853 | 1,698 | 1,767 | 2,062 | 1,941 |
| **7月** | **1,939** | **1,759** | **1,784** | **1,862** | **1,673** | **1,795** | **2,023** | **1,937** |
| 対前月比 | ▲ 0.5% | 0.2% | ▲ 0.8% | 0.5% | ▲ 1.5% | 1.6% | ▲ 1.9% | ▲ 0.2% |
| 対前年同月比 | 12.7% | 8.5% | 4.5% | 2.0% | ▲ 1.4% | 6.9% | ▲ 6.3% | 4.6% |

資料：　（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータに基づいて農林水産省が作成
注：１　（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータは、全国約1,010店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
２　POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
３　POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
４　平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について５kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
５　価格に含む消費税は8%である。

# Ⅶ　ＭＡ米（一般・ＳＢＳ）の動向

## （１）　ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

| | 米　国 | タ イ | 中　国 | オーストラリア | その他 | 合　計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | うち一般輸入 | うちSBS輸入※ |
| 平成7年度 | 194 | 107 | 32 | 87 | 5 | 426 | 415 | 11 |
| 平成8年度 | 233 | 144 | 40 | 87 | 6 | 511 | 488 | 22 |
| 平成9年度 | 290 | 151 | 46 | 95 | 13 | 596 | 537 | 55 |
| 平成10年度 | 313 | 152 | 78 | 109 | 29 | 681 | 551 | 120 |
| 平成11年度 | 339 | 159 | 86 | 115 | 24 | 724 | 591 | 120 |
| 平成12年度 | 356 | 168 | 99 | 120 | 24 | 767 | 632 | 120 |
| 平成13年度 | 364 | 146 | 136 | 110 | 11 | 767 | 655 | 100 |
| 平成14年度 | 361 | 153 | 112 | 96 | 44 | 767 | 710 | 50 |
| 平成15年度 | 355 | 153 | 110 | 90 | 51 | 759 | 647 | 100 |
| 平成16年度 | 361 | 185 | 98 | 20 | 103 | 767 | 661 | 94 |
| 平成17年度 | 362 | 186 | 84 | 19 | 116 | 767 | 655 | 100 |
| 平成18年度 | 358 | 179 | 76 | 52 | 102 | 767 | 654 | 100 |
| 平成19年度 | 358 | 243 | 82 | － | 13 | 696 | 585 | 100 |
| 平成20年度 | 430 | 261 | 72 | － | 6 | 769 | 658 | 100 |
| 平成21年度 | 358 | 332 | 71 | － | 5 | 767 | 655 | 100 |
| 平成22年度 | 356 | 345 | 19 | 40 | 6 | 767 | 725 | 37 |
| 平成23年度 | 358 | 241 | 56 | 71 | 40 | 767 | 658 | 100 |
| 平成24年度 | 362 | 281 | 46 | 64 | 13 | 767 | 656 | 100 |
| 平成25年度 | 359 | 351 | 1 | 41 | 15 | 767 | 700 | 61 |
| 平成26年度 | 359 | 332 | 55 | 14 | 6 | 767 | 754 | 12 |
| 平成27年度 | 359 | 344 | 56 | 1 | 6 | 767 | 734 | 29 |
| 平成28年度 | 376 | 375 | 3 | 7 | 7 | 767 | 685 | 73 |
| 平成29年度（6月末現在） | － | 11 | － | － | － | 11 | 11 | － |

資料：　農林水産省「米をめぐる関係資料」
　　※ＳＢＳ輸入数量の単位は千実トン。
注：１　各年度の輸入契約数量の推移。
　　２　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。
　　３　千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）ＭＡ米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

## （2）　加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成28年度)

（単位：実トン）

| 販売期間 | うるち | 販売期間 | もち |
|---|---|---|---|
| 平成28年4～6月分 | 15,460 | 平成28年4～7月分 | 2,910 |
| 4月分 | 300 | 平成28年8～11月分 | 3,221 |
| 5月分 | 875 | 平成28年12～平成29年3月分 | 3,158 |
| 6月分 | 1,612 | | |
| 7～9月分 | 24,101 | | |
| 7月分 | 426 | | |
| 8月分 | 676 | | |
| 9月分 | 953 | | |
| 10～12月分 | 20,437 | | |
| 10月分 | 718 | | |
| 11月分 | 2,972 | | |
| 12月分 | 3,445 | | |
| 平成29年1～3月分 | 31,697 | | |
| 1月分 | 657 | | |
| 2月分 | 435 | | |
| 3月分 | 1,090 | | |
| 小　計 | 105,854 | 小　計 | 9,289 |
| 合計 | 115,143 | | |

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

## （3）　SBS輸入米の見積合わせ結果(平成28年度)

（単位：実トン）

| | | アメリカ | | タイ | | 中国 | | その他 | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | うるち | もち | うるち | もち | うるち | もち | うるち | もち | |
| 第1回（平成28年9月7日） | 一般米 | 5,266 | 508 | 80 | | 36 | | 1,526 | | 7,416 |
| | 砕精米 | 2,356 | 100 | 300 | 144 | 100 | | | | 3,000 |
| 第2回（平成28年12月16日） | 一般米 | 5,169 | 576 | 538 | | 600 | | 1,501 | | 8,384 |
| | 砕精米 | 2,600 | 100 | 300 | | | | | | 3,000 |
| 第3回（平成29年1月11日） | 一般米 | 5,578 | 640 | 1,096 | | 840 | | 839 | | 8,993 |
| | 砕精米 | 3,900 | 100 | 1,000 | | | | | | 5,000 |
| 第4回（平成29年1月25日） | 一般米 | 2,875 | 480 | 362 | | 340 | | 396 | | 4,453 |
| | 砕精米 | 4,400 | | 600 | | | | | | 5,000 |
| 第5回（平成29年2月8日） | 一般米 | 4,170 | 440 | 984 | 108 | 100 | | 1,567 | | 7,369 |
| | 砕精米 | 4,560 | 200 | 100 | | 140 | | | | 5,000 |
| 第6回（平成29年3月3日） | 一般米 | 4,260 | 956 | 427 | | 240 | | 2,268 | | 8,151 |
| | 砕精米 | 7,004 | 200 | | 244 | | | 100 | | 7,548 |
| 合計 | 一般米 | 27,318 | 3,600 | 3,487 | 108 | 2,156 | 0 | 8,097 | 0 | 44,766 |
| | 砕精米 | 24,820 | 700 | 2,300 | 388 | 240 | 0 | 100 | 0 | 28,548 |
| 平成23年度計（参考） | 一般米 | 7,490 | 5,324 | 2,038 | 80 | 50,463 | 0 | 17,155 | 0 | 82,550 |
| | 砕精米 | 10,124 | 990 | 2,320 | 3,384 | 632 | 0 | 0 | 0 | 17,450 |
| 平成24年度計（参考） | 一般米 | 34,076 | 2,290 | 1,536 | 72 | 27,640 | 0 | 24,386 | 0 | 90,000 |
| | 砕精米 | 4,032 | 576 | 2,898 | 364 | 524 | 0 | 1,606 | 0 | 10,000 |
| 平成25年度計（参考） | 一般米 | 14,686 | 4,396 | 3,346 | 144 | 174 | 0 | 17,993 | 0 | 40,739 |
| | 砕精米 | 576 | 388 | 7,375 | 308 | 540 | 0 | 10,913 | 0 | 20,100 |
| 平成26年度計（参考） | 一般米 | 662 | 2,418 | 2,732 | 72 | 80 | 0 | 1,326 | 0 | 7,290 |
| | 砕精米 | 0 | 724 | 2,540 | 252 | 700 | 0 | 100 | 0 | 4,316 |
| 平成27年度計（参考） | 一般米 | 4,251 | 3,458 | 2,762 | 72 | 76 | 0 | 2,244 | 0 | 12,863 |
| | 砕精米 | 10,940 | 1,260 | 2,420 | 1,022 | 660 | 0 | 150 | 0 | 16,452 |

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成23～28年度

# Ⅷ　その他

## （1）　水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 平成29年産水稲うるち玄米の平成29年7月３１日現在の検査数量は、1万トン。
- １等米比率は、54.1%。

### ①　検査数量の推移（累計）

単位：千トン

| 年産別 | 当年 | | | | | | 翌年 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 10月 |
| 24 | 13 | 223 | 1,732 | 3,750 | 4,156 | 4,313 | 4,411 | 4,532 | 4,657 | 5,041 |
| 25 | 23 | 265 | 1,869 | 3,806 | 4,248 | 4,433 | 4,537 | 4,661 | 4,793 | 5,206 |
| 26 | 12 | 229 | 1,789 | 3,785 | 4,276 | 4,470 | 4,595 | 4,720 | 4,880 | 5,275 |
| 27 | 11 | 220 | 1,537 | 3,506 | 3,964 | 4,149 | 4,252 | 4,385 | 4,518 | 4,868 |
| 28 | 18 | 231 | 1,656 | 3,564 | 4,036 | 4,212 | 4,319 | 4,451 | 4,585 | |
| 参考：前年比 | 161% | 105% | 108% | 102% | 102% | 102% | 102% | 101% | 101% | |
| 29 | 13 | | | | | | | | | |
| 参考：前年比 | 72% | | | | | | | | | |

注：1　各月末時点の検査数量である。
　　2　生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

### ②　検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

| 年産別 | 検査数量 | 等級別数量 | | | | 等級比率 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1等 | 2等 | 3等 | 規格外 | 1等 | 2等 | 3等 | 規格外 |
| 18 | 4,776,481 | 3,746,166 | 822,163 | 112,475 | 95,677 | 78.4 | 17.2 | 2.4 | 2.0 |
| 19 | 4,805,870 | 3,826,432 | 795,452 | 95,082 | 88,903 | 79.6 | 16.6 | 2.0 | 1.8 |
| 20 | 5,093,440 | 4,073,571 | 849,087 | 76,542 | 94,240 | 80.0 | 16.7 | 1.5 | 1.9 |
| 21 | 4,818,603 | 4,102,807 | 582,137 | 48,396 | 85,263 | 85.1 | 12.1 | 1.0 | 1.8 |
| 22 | 4,859,642 | 3,013,076 | 1,570,194 | 152,813 | 123,559 | 62.0 | 32.3 | 3.1 | 2.5 |
| 23 | 4,753,193 | 3,840,127 | 759,339 | 60,000 | 93,727 | 80.8 | 16.0 | 1.3 | 2.0 |
| 24 | 5,041,489 | 3,953,978 | 910,522 | 82,760 | 94,229 | 78.4 | 18.1 | 1.6 | 1.9 |
| 25 | 5,205,717 | 4,112,147 | 905,866 | 96,289 | 91,415 | 79.0 | 17.4 | 1.8 | 1.8 |
| 26 | 5,274,634 | 4,291,267 | 806,063 | 70,348 | 106,956 | 81.4 | 15.3 | 1.3 | 2.0 |
| 27 | 4,868,436 | 4,016,542 | 687,770 | 82,648 | 81,475 | 82.5 | 14.1 | 1.7 | 1.7 |
| 28(注2) | 4,036,483 | 3,379,525 | 559,862 | 54,759 | 42,337 | 83.7 | 13.9 | 1.4 | 1.0 |
| 29(注3) | 13,347 | 7,215 | 4,452 | 1,244 | 436 | 54.1 | 33.4 | 9.3 | 3.3 |

資料：　農林水産省とりまとめ
注：１　等級比率は、１等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、１等に格付けされた割合である。
　　２　28年産米については、平成29年3月31日現在（速報値）。
　　３　29年産米については、平成29年7月31日現在（速報値）。

## （2）　平成28年産水陸稲の作付面積及び収穫量

| 全国・都道府県 | | 水陸稲計 作付面積（子実用） | 水陸稲計 収穫量（子実用） | 水 作付面積（子実用）① | 水 10a当たり収量② | 水 （参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 10a当たり収量③ | 水 （参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 10a当たり平年収量④ | 水 （参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 作況指数⑤＝③／④ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ha | t | ha | kg | kg | kg | |
| 全国 | (1) | 1,479,000 | 8,044,000 | 1,478,000 | 544 | 531 | 517 | 103 |
| 北海道 | (2) | 105,000 | 578,600 | 105,000 | 551 | 536 | 524 | 102 |
| 青森 | (3) | 42,600 | 257,300 | 42,600 | 604 | 590 | 569 | 104 |
| 岩手 | (4) | 50,300 | 271,600 | 50,300 | 540 | 530 | 519 | 102 |
| 宮城 | (5) | 66,600 | 369,000 | 66,600 | 554 | 542 | 517 | 105 |
| 秋田 | (6) | 87,200 | 515,400 | 87,200 | 591 | 577 | 554 | 104 |
| 山形 | (7) | 65,000 | 395,200 | 65,000 | 608 | 597 | 578 | 103 |
| 福島 | (8) | 64,200 | 356,300 | 64,200 | 555 | 538 | 526 | 102 |
| 茨城 | (9) | 70,000 | 362,500 | 69,300 | 521 | 509 | 516 | 99 |
| 栃木 | (10) | 57,600 | 316,900 | 57,400 | 551 | 541 | 528 | 102 |
| 群馬 | (11) | 15,400 | 77,800 | 15,400 | 505 | 489 | 479 | 102 |
| 埼玉 | (12) | 31,700 | 156,600 | 31,700 | 494 | 481 | 475 | 101 |
| 千葉 | (13) | 55,800 | 305,900 | 55,700 | 549 | 538 | 525 | 102 |
| 東京 | (14) | 152 | 629 | 151 | 415 | 406 | 401 | 101 |
| 神奈川 | (15) | 3,120 | 15,400 | 3,120 | 495 | 484 | 478 | 101 |
| 新潟 | (16) | 116,800 | 678,600 | 116,800 | 581 | 565 | 524 | 108 |
| 富山 | (17) | 38,100 | 215,600 | 38,100 | 566 | 555 | 525 | 106 |
| 石川 | (18) | 25,600 | 136,700 | 25,600 | 534 | 525 | 504 | 104 |
| 福井 | (19) | 25,100 | 134,300 | 25,100 | 535 | 518 | 499 | 104 |
| 山梨 | (20) | 4,990 | 27,300 | 4,990 | 547 | 537 | 532 | 101 |
| 長野 | (21) | 32,700 | 204,000 | 32,700 | 624 | 615 | 609 | 101 |
| 岐阜 | (22) | 22,200 | 107,900 | 22,200 | 486 | 476 | 478 | 100 |
| 静岡 | (23) | 16,000 | 84,000 | 16,000 | 525 | 519 | 513 | 101 |
| 愛知 | (24) | 27,700 | 144,300 | 27,700 | 521 | 512 | 499 | 103 |
| 三重 | (25) | 27,600 | 144,100 | 27,600 | 522 | 511 | 488 | 105 |
| 滋賀 | (26) | 31,900 | 170,300 | 31,900 | 534 | 525 | 506 | 104 |
| 京都 | (27) | 14,800 | 76,400 | 14,800 | 516 | 507 | 501 | 101 |
| 大阪 | (28) | 5,310 | 26,800 | 5,310 | 505 | 491 | 480 | 102 |
| 兵庫 | (29) | 37,000 | 185,400 | 37,000 | 501 | 490 | 489 | 100 |
| 奈良 | (30) | 8,710 | 45,700 | 8,710 | 525 | 512 | 500 | 102 |
| 和歌山 | (31) | 6,720 | 34,100 | 6,720 | 507 | 496 | 484 | 102 |
| 鳥取 | (32) | 12,700 | 66,300 | 12,700 | 522 | 515 | 504 | 102 |
| 島根 | (33) | 17,700 | 93,500 | 17,700 | 528 | 521 | 500 | 104 |
| 岡山 | (34) | 30,400 | 162,000 | 30,400 | 533 | 521 | 515 | 101 |
| 広島 | (35) | 24,100 | 128,000 | 24,100 | 531 | 523 | 512 | 102 |
| 山口 | (36) | 21,000 | 107,500 | 21,000 | 512 | 502 | 492 | 102 |
| 徳島 | (37) | 11,700 | 57,300 | 11,700 | 490 | 487 | 469 | 104 |
| 早期栽培 | (38) | 4,470 | 21,500 | 4,470 | 480 | 478 | 459 | 104 |
| 普通栽培 | (39) | 7,180 | 35,700 | 7,180 | 497 | 494 | 475 | 104 |
| 香川 | (40) | 13,200 | 67,100 | 13,200 | 508 | 504 | 493 | 102 |
| 愛媛 | (41) | 14,200 | 72,100 | 14,200 | 508 | 501 | 493 | 102 |
| 高知 | (42) | 11,800 | 54,000 | 11,800 | 458 | 456 | 454 | 100 |
| 早期栽培 | (43) | 6,580 | 31,600 | 6,580 | 481 | 479 | 476 | 101 |
| 普通栽培 | (44) | 5,180 | 22,200 | 5,180 | 428 | 425 | 427 | 100 |
| 福岡 | (45) | 36,000 | 180,400 | 36,000 | 501 | 481 | 479 | 100 |
| 佐賀 | (46) | 24,800 | 129,200 | 24,800 | 521 | 504 | 503 | 100 |
| 長崎 | (47) | 12,000 | 59,500 | 12,000 | 496 | 481 | 462 | 104 |
| 熊本 | (48) | 33,800 | 178,100 | 33,800 | 527 | 508 | 497 | 102 |
| 大分 | (49) | 21,300 | 107,400 | 21,300 | 504 | 481 | 480 | 100 |
| 宮崎 | (50) | 16,800 | 83,700 | 16,800 | 498 | 485 | 483 | 100 |
| 早期栽培 | (51) | … | … | 6,730 | 461 | 454 | 470 | 97 |
| 普通栽培 | (52) | … | … | 10,000 | 523 | 505 | 491 | 103 |
| 鹿児島 | (53) | 21,000 | 101,400 | 21,000 | 483 | 467 | 469 | 100 |
| 早期栽培 | (54) | … | … | 4,610 | 429 | 416 | 434 | 96 |
| 普通栽培 | (55) | … | … | 16,400 | 498 | 481 | 479 | 100 |
| 沖縄 | (56) | 785 | 2,270 | 785 | 289 | 286 | 305 | 94 |
| 第一期稲 | (57) | 560 | 1,970 | 560 | 351 | 348 | 365 | 95 |
| 第二期稲 | (58) | 225 | 306 | 225 | 136 | 132 | 161 | 82 |

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
3　全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
4　（参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、各全国農業地域に所在する農家等が使用しているふるい目幅について、その目幅が大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

| 稲 | | | 陸稲 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 収穫量（子実用）⑥＝①×② | 参考 主食用作付面積⑦ | 参考 収穫量（主食用）⑧＝⑦×② | 作付面積（子実用） | 10a当たり収量 | 収穫量（子実用） | （参考）10a当たり平均収量対比 | |
| t | ha | t | ha | kg | t | % | |
| 8,042,000 | 1,381,000 | 7,496,000 | 944 | 218 | 2,060 | 94 | (1) |
| 578,600 | 99,000 | 545,500 | － | － | － | nc | (2) |
| 257,300 | 36,800 | 222,300 | 2 | 198 | 4 | 79 | (3) |
| 271,600 | 47,100 | 254,300 | x | x | x | x | (4) |
| 369,000 | 63,600 | 352,300 | － | － | － | － | (5) |
| 515,400 | 69,300 | 409,600 | x | x | x | x | (6) |
| 395,200 | 56,800 | 345,300 | － | － | － | － | (7) |
| 356,300 | 60,100 | 333,600 | 2 | 175 | 4 | 101 | (8) |
| 361,100 | 67,200 | 350,100 | 652 | 212 | 1,380 | 91 | (9) |
| 316,300 | 53,600 | 295,300 | 232 | 239 | 554 | 103 | (10) |
| 77,800 | 14,100 | 71,200 | 7 | 157 | 11 | 97 | (11) |
| 156,600 | 31,200 | 154,100 | 4 | 139 | 5 | 103 | (12) |
| 305,800 | 53,900 | 295,900 | 31 | 246 | 76 | 134 | (13) |
| 627 | 151 | 627 | 1 | 160 | 2 | 119 | (14) |
| 15,400 | 3,110 | 15,400 | 5 | 207 | 10 | 119 | (15) |
| 678,600 | 101,500 | 589,700 | 2 | 230 | 5 | 105 | (16) |
| 215,600 | 33,800 | 191,300 | － | － | － | nc | (17) |
| 136,700 | 23,200 | 123,900 | － | － | － | nc | (18) |
| 134,300 | 23,600 | 126,300 | － | － | － | nc | (19) |
| 27,300 | 4,940 | 27,000 | － | － | － | nc | (20) |
| 204,000 | 31,700 | 197,800 | － | － | － | nc | (21) |
| 107,900 | 21,700 | 105,500 | － | － | － | － | (22) |
| 84,000 | 15,800 | 83,000 | 1 | 217 | 1 | 103 | (23) |
| 144,300 | 26,900 | 140,100 | － | － | － | － | (24) |
| 144,100 | 27,000 | 140,900 | － | － | － | － | (25) |
| 170,300 | 30,200 | 161,300 | － | － | － | nc | (26) |
| 76,400 | 14,300 | 73,800 | － | － | － | － | (27) |
| 26,800 | 5,310 | 26,800 | － | － | － | nc | (28) |
| 185,400 | 35,400 | 177,400 | － | － | － | nc | (29) |
| 45,700 | 8,680 | 45,600 | － | － | － | nc | (30) |
| 34,100 | 6,720 | 34,100 | － | － | － | nc | (31) |
| 66,300 | 12,500 | 65,300 | － | － | － | nc | (32) |
| 93,500 | 17,300 | 91,300 | － | － | － | nc | (33) |
| 162,000 | 29,200 | 155,600 | － | － | － | nc | (34) |
| 128,000 | 23,400 | 124,300 | － | － | － | nc | (35) |
| 107,500 | 19,800 | 101,400 | － | － | － | nc | (36) |
| 57,300 | 11,500 | 56,400 | － | － | － | － | (37) |
| 21,500 | … | … | － | － | － | nc | (38) |
| 35,700 | … | … | － | － | － | nc | (39) |
| 67,100 | 13,200 | 67,100 | － | － | － | nc | (40) |
| 72,100 | 14,200 | 72,100 | － | － | － | nc | (41) |
| 54,000 | 11,600 | 53,100 | － | － | － | nc | (42) |
| 31,600 | … | … | － | － | － | nc | (43) |
| 22,200 | … | … | － | － | － | nc | (44) |
| 180,400 | 35,400 | 177,400 | － | － | － | nc | (45) |
| 129,200 | 24,600 | 128,200 | － | － | － | nc | (46) |
| 59,500 | 12,000 | 59,500 | － | － | － | － | (47) |
| 178,100 | 32,500 | 171,300 | 0 | 139 | 0 | 99 | (48) |
| 107,400 | 21,100 | 106,300 | － | － | － | － | (49) |
| 83,700 | 15,500 | 77,200 | 1 | 113 | 1 | 56 | (50) |
| 31,000 | … | … | … | … | … | nc | (51) |
| 52,300 | … | … | … | … | … | nc | (52) |
| 101,400 | 20,200 | 97,600 | 3 | 143 | 4 | 67 | (53) |
| 19,800 | … | … | … | … | … | nc | (54) |
| 81,700 | … | … | … | … | … | nc | (55) |
| 2,270 | 785 | 2,270 | － | － | － | nc | (56) |
| 1,970 | … | … | － | － | － | nc | (57) |
| 306 | … | … | － | － | － | nc | (58) |

5　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6　陸稲の（参考）10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

## （別冊）「資料編」の目次


Ⅰ　在庫情報
平成27/28年産の産地別民間在庫の推移
（うるち米、平成28年7月末から29年6月末）（速報）　・・・・・・・・・・・・・１

Ⅱ　米の価格情報
業者間取引の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
① 日本コメ市場（随時取引の結果）
② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）
③（株）加工用米取引センターの取引結果
④ 米の現物市場の状況

Ⅲ　主食用米以外（輸出を含む）
（１）加工用米及び新規需要米の取組状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
① 加工用米の生産量
② 新規需要米の用途別認定状況
③ 加工用米・新規需要米等の取組状況（平成28年産、都道府県別）
（２）飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
（３）政府備蓄米の運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
備蓄米の買入入札の結果（落札実績）（平成23～29年産）
（４）商業用の米の輸出量及び金額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
（５）2016年の主な増加要因（輸出業者等からのヒアリング結果による）・・・・２４
（６）米菓の輸出量及び金額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
（７）日本酒（清酒）の輸出量及び金額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

Ⅳ　消費動向
（１）米の消費動向（米穀機構による調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
（２）小売価格の推移（ＰＯＳデータ、主な銘柄）・・・・・・・・・・・・・・・・３０

Ⅴ その他
（１）米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成29年８月分）・・・・・・・３１
（２）平成28年産水陸稲の収穫量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
（３）水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）　・・・・・・・・・・・・３９
（４）水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、
10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移　・・・・・・・・・・・・３９
（５）麦・大豆の需要情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
① 29年産麦の産地別銘柄別入札結果
② 28年産大豆の産地別銘柄別入札結果
（６）野菜等の需給情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
（７）米の安定取引研究会報告書の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９


**米に関するマンスリーレポート（本編・資料編）は、農林水産省のホームページからもご覧いただけます。**

**（ＵＲＬ）http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html**

## マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

### 【農林水産省】

| 問い合わせ先 | 連絡先 |
|---|---|
| 政策統括官付農産企画課<br>・企画班（林）<br>・米穀需給班（佐々木・石田・萱場） | 03-6738-8973 |

### 【地方農政局等】

| 問い合わせ先 | 連絡先 |
|---|---|
| 北海道農政事務所<br>生産経営産業部 生産支援課 | 011-330-8807 |
| 東北農政局<br>生産部 生産振興課 | 022-221-6169 |
| 関東農政局<br>生産部 生産振興課 | 048-740-0100 |
| 北陸農政局<br>生産部 生産振興課 | 076-232-4302 |
| 東海農政局<br>生産部 生産振興課 | 052-223-4623 |
| 近畿農政局<br>生産部 生産振興課 | 075-414-9020 |
| 中国四国農政局<br>生産部 生産振興課 | 086-224-9411 |
| 九州農政局<br>生産部 生産振興課 | 096-300-6224 |
| 内閣府沖縄総合事務局<br>農林水産部 生産振興課 | 098-866-1653 |

**【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】**

○　農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。

○　当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。

○　メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

【メールマガジン配信登録】
農林水産省ホーム＞報道広報＞メールマガジン
（ＵＲＬ）http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html

大規模生産法人、農協等の皆様向けパンフレット

【開催時期】平成29年9月～平成30年2月

【開催場所】全国10か所（11回開催）

札幌、仙台、さいたま、東京（2回）、金沢、名古屋、京都、大阪、岡山、熊本

家庭内での米の消費が減る一方で、中食・外食等における米の需要は伸びており、このような業務用途の米は、今後も安定的な需要が見込まれます。

平成30年度米からの国による米政策目標の配分がなくなる中で、今後一層、米産地の法人や農協等がユーザーである中食・外食事業者等と結びつき、需要事業者のニーズに応じた生産を行い、複数年契約や産地直結を推進するなど安定した取引につなげていくことが重要です。

このような取引の拡大に向けて、業務用途への安定取引に取り組みたい米産地と中食・外食事業者等とのマッチングを行う「米マッチングフェア2017」を全国各地で開催します。

是非、ぜひこのマッチングイベントに参加し、安定した米の販路を開拓しませんか？

※ 参考写真はイメージです。

※参加パンフは、事前に参加者確認（下記問合せ先参照）の時間（開催日の2週間前）までに参加者様へ下記参加申込書にてお送りします。「株式会社ブレイン・エス・ピー」宛


お問い合わせ
株式会社 ブレイン・エス・ピー
米マッチングフェア2017（事務局）担当：小林
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 高橋ハイツ3F
Tel. 03-3816-0873 Fax. 03-3814-0755
E-mail: kome-matching@brainsp.co.jp

## 産地向け募集説明会 開催スケジュール

（各会場とも）受付 13:00　開催 13:30～16:00

【開催スケジュール】

| | | |
|---|---|---|
| 札幌会場 | 平成29年6月23日(金) | （北海道農政事務所 大会議室） |
| 仙台会場 | 平成29年6月29日(木) | （東北農政局 会議室） |
| さいたま会場 | 平成29年6月30日(金) | （関東農政局 応接小会議室1-C） |
| 東京会場 | 平成29年6月27日(火) | （TKP神田ビジネスセンター 会議室） |
| 金沢会場 | 平成29年7月20日(木) | （TKP金沢ビジネスセンター カンファレンスルーム） |
| 名古屋会場 | 平成29年7月14日(金) | （東海農政局 第1会議室） |
| 京都会場 | 平成29年7月12日(水) | （TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター カンファレンスルーム） |
| 大阪会場 | 平成29年7月11日(火) | （TKP梅田駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム） |
| 岡山会場 | 平成29年7月24日(月) | （中国四国農政局 会議室） |
| 熊本会場 | 平成29年7月5日(水) | （TKPガーデンシティ熊本 [illegible]） |

**産地向け募集説明会 参加申込方法**

産地向け募集説明会は、平成29年6月より開催される各ブロックの農政局に、産地（大規模生産法人、農協等）の参考人を派遣いたします。

当日は、主要産地より日本全国の産地参考人をブロック毎に集合開催をおこない、参考人の産地紹介（[illegible]）、[illegible]を予定です。

産地参考人は、農業協同組合の推薦を（農協のみ）、参加希望産地毎の下記要領をまとめ農政局までに農協の申し込み書でファックス又は郵送メールにて申込みください。

なお、参加希望産地が複数ある方は複数枚、農協推薦産地は農協として推薦してください。（参加申込書はホームページからもダウンロードできます。）

※ご参加産地は、当日会場にて参加者（プレゼンテーター）を決定します。

※なお、参加産地の数は、[illegible]

**産地向け募集説明会 参加者の皆様へ**

参加：メール申込、当日受付に「産地向け募集説明会スケジュール」を参加ページからダウンロードして確認、行います。

出展産地の先着順の方は、各所参加者様と調整をご連絡ください。

※会場と所要時間による参加制限、参加者人数の調整等、参加者人数の不足により会場変更を[illegible]

※会場スペース：[illegible]テーブル（[illegible]）を予定

※お昼休は、[illegible]です。ただし、[illegible]

※参加者[illegible]

※会場参加者の場合は、事前申込をいただくようお願いします。

※ご不明な点は、事前申込の[illegible]

マッチングフェア2017

出展無料

# 展示商談会・セミナー のご案内

## 展示商談会・セミナー（東京・大阪開催） 各2日間

【開催スケジュール】

**東京会場**（TKC東京放送センター）
平成29年10月24日(火)・25日(水)
10:00～16:00 出展社数○○社（予定）

**大阪会場**（マイドーム大阪）
平成29年12月12日(火)・13日(水)
10:00～16:00 出展社数○○社（予定）

**東京会場**（TKC東京放送センター）
平成30年2月6日(火)・7日(水)
10:00～16:00 出展社数○○社（予定）

出展者説明会の内容
- 出展ルール
- 商談ルール

セミナー（全日）開催時間 ○○
専門家による講演内容、経営に役立つ人材育成、販路開拓、商品ブランディング、海外展開等の予定

## 展示商談会・セミナー＋現地交流会（地方開催） 各2日間

1日目 商談会開場 10:00～16:00　セミナー 1部 11:00～12:00 2部 14:00～15:00

出展者説明会の内容
- 出展ルール（出展ブース等（予定））
- 商談ルール

セミナー
専門家による講演内容、経営に役立つ人材育成、販路開拓、商品ブランディング、海外展開等の予定

2日目 現地交流会

現地交流会
懇親、ライブセッション等を実施。商品の試食会や商談会を行う

【開催スケジュール】

**札幌会場**（札幌コンベンションセンター）
平成29年11月29日(水)・30日(木)

**名古屋会場**（明治ホール）
平成29年9月29日(金)・30日(土)

**仙台会場**（サンフェスタ）
平成29年11月22日(水)・23日(木)

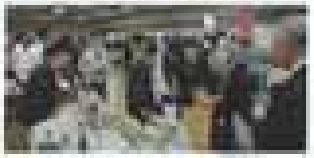
**京都会場**（みやこメッセ）
平成29年9月20日(水)・21日(木)

**さいたま会場**（大宮ソニックシティ）
平成29年9月6日(水)・7日(木)

**岡山会場**（コンパックス岡山）
平成29年10月31日(火)・11月1日(水)

**金沢会場**（金沢百番街）
平成29年12月7日(木)・8日(金)

**熊本会場**（グランメッセ熊本）
平成29年10月3日(火)・10月4日(水)



マッチングフェア2017

# 産地向け募集説明会 の参加申込書

○申し込み方法：①下記開催日の箇所に◯をご記入ください。
②本用紙に参加情報をご記入のうえ、FAXまたはメールでお申し込みください。

○申し込み締切：参加希望会場説明の1週間前までにお申し込みください。

【注意事項】

※事前申込みいただきました通信手段（FAXまたはメール）にて、幹事会社でご連絡を差しあげます。
メールでお申し込みいただく場合、事前事前、ご連絡先などご記載の情報を必ず記載してください。

※場はあく程度しておりますが、定員一杯になりましたら受付終了とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※参加費は無料です。但し出張などの交通費は各自負担となりますので、あらかじめご了承ください。

※ご不明は、当所宛連絡先をご利用ください。　※連絡先は、幹事1社をご参考ください。

○開催場所チェック欄

- ☐ 札幌会場 6月23日(金)
- ☐ 仙台会場 6月29日(木)
- ☐ さいたま会場 6月20日(火)
- ☐ 東京会場 6月27日(火)
- ☐ 金沢会場 7月28日(水)
- ☐ 名古屋会場 7月14日(金)
- ☐ 京都会場 7月12日(水)
- ☐ 大阪会場 7月11日(火)
- ☐ 岡山会場 7月24日(月)
- ☐ 熊本会場 7月5日(水)

※○印の開催会場を参加希望会場にご記入ください。
参加会場は1つ選択ください。

○参加者申し込み記入欄

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>貴社（団体）名 | 部署名　　役職 |
| 住所　〒　　－　　） | |
| 電話番号　（　　） | FAX番号　（　　） |
| 参加者　　名 | 携帯番号　（　　）<br>メール<br>アドレス |

※ご記入いただきました個人情報は、事務局（マッチングフェア実行委員会）からの連絡のみに使用致します。

【お問い合わせ】
株式会社 グレイン・エスピー
担当：マッチングフェア2017事務局（東京・小林）
〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-6 湯島ビルヂング
Tel：03-3816-0672　Fax：03-3816-0708
※メールでお申し込み等のご用
kome-matching@grainsp.co.jp

マッチングフェア2017 URL https://kome-matching.com/

FAXにてお申し込みください

送信先FAX
03-3816-0708

中食・外食事業者等の皆様向けパンフレット

業務用途への安定取引に向けた

# 米マッチングフェア 2017

産地
大規模生産法人、農協等

実需者
中食・外食事業者等

開催時期
中食・外食事業者等の皆様へ

【開催時期】
**平成29年9月～平成30年2月**

【開催場所】全国10か所（11回開催）
**札幌、仙台、さいたま、東京（2回）、金沢、名古屋、京都、大阪、岡山、熊本**

家庭内での米の消費が減る一方で、中食・外食等における米の需要は伸びており、このような業務用途の米は、今後も堅調な需要が見込まれます。

平成30年度米から行政による生産数量目標の配分がなくなる中で、今後一層、米産地の法人や農協等がユーザーである中食・外食事業者等と結びつき、需要事業者のニーズに応じた生産を行い、産地年間契約や複数品種契約を構築するなど安定した取引につなげていくことが重要です。

このような取引の拡大に向けて、業務用途への安定取引に取り組みたい米産地と中食・外食事業者等とのマッチングを行う「米マッチングフェア2017」を全国各地で開催します。

皆様、ぜひこのマッチングイベントに参加し、安定した米の供給先を開拓しませんか？


お問い合わせ
株式会社 グレイン・エス・ピー
米マッチングフェア2017事務局：佐藤、小林


マッチングフェア2017

開催される中食・外食事業者等の皆様へ

# 展示商談会・セミナー のご案内

## 展示商談会・セミナー（東京・大阪） 各2日間

【開催スケジュール】

**東京会場** TRC東京流通センター（東京都大田区平和島6-1-1）
平成29年10月24日（火）・25日（水）

**東京会場** TRC東京流通センター（東京都大田区平和島6-1-1）
平成30年2月6日（火）・7日（水）

**大阪会場** マイドームおおさか（大阪府大阪市中央区本町橋2-5）
平成29年12月12日（火）・13日（水）

各地 展示商談会 10:00～16:00（商談手数35ブース/日）

展示商談会の内容
●商談コーナー（産地直結のコーナー 毎開催）
●各種紹介コーナー（産地巡りの紹介、見学等）

セミナー 1部 11:00～12:00 2部 14:00～15:00（各100名）

セミナー
産地直結の取引事例、業務用に適した米の品種、
産地と実需者を結ぶ仕組みの構築を予定

参加者募集中！
●産地と実需者による商談商談、産地年間契約締結、産地が毎月の品種情報、産地が毎月の生産に関連する最近の動向など、
●産地紹介（情報）は、生産者の方々の実績を紹介しながら、
●セミナー講演は、産地直結の取引事例（成功事例）、ターゲットの工夫、産地情報をテーマにしたものです。ぜひお聞き下さい。

マッチングフェア2017

# 展示商談会・セミナー のご案内

## 展示商談会・セミナー＋現地交流会（地方8ケ所） 各2日間

【開催スケジュール】

**札幌** 会場 札幌コンベンションセンター（北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目3-1）
平成29年11月29日（水）・30日（木）

**仙台** 会場 サンフェスタ（宮城県仙台市青葉区錦町1丁目11-1）
平成29年11月22日（水）・23日（木）

**さいたま** 会場 大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5）
平成29年9月6日（水）・7日（木）

**金沢** 会場 金沢流通会館（石川県金沢市問屋町2丁目61番）
平成29年12月7日（木）・8日（金）

**名古屋** 会場 吹上ホール（愛知県名古屋市千種区吹上2-6-3）
平成29年9月29日（金）・30日（土）

**京都** 会場 みやこメッセ（京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1）
平成29年9月20日（水）・21日（木）

**岡山** 会場 コンベックス岡山（岡山県岡山市北区大内田675）
平成29年10月31日（火）・11月1日（水）

**熊本** 会場 グランメッセ熊本（熊本県上益城郡益城町惣領1910）
平成29年10月3日（火）・10月4日（水）

1日目 展示商談会 10:00～16:00（売り手約25ブース／日）
セミナー 1部 11:00～12:00 2部 14:00～15:00

■展示商談会内容
●各国コーナー（海外諸国のコーナーを開催）
●分野別コーナー（分野ごと出展の出来値の、紹介等）

■セミナー
事前説明の成功事例、経験者による本日の本音トーク、
貴重な情報を得て次年の出展を予定

2日目 現地交流会 10:00～16:00 50名（出展者の開催地からバスで開催へ移動します）
（開催の事業説明会は分野別出展者で各種説明会があります）

■現地交流会
現地の開発、ライフセンター等を見学し、開発の先進地や最新技術を学べる内
販売活動を行い地元の開発を支援しています。

---

中国・西南諸国者等の招聘へ　マッチングフェア2017

# 展示商談会・セミナーの来場申込書

| | |
|---|---|
| 会社名等名 | |
| 部署名等 | 役職 / 氏名 |
| 住所 | 〒　－　） |
| 電話番号 | （　　） |
| FAX番号 | （　　） |
| メールアドレス | |
| 携帯番号 | （　　） |

※ご記入いただいた個人情報は、当イベントに関する情報のみに使用させていただきます。

【申し込み方法】
①下記開催日の参加欄に☑を、また開催年度と参加者ご記入ください（複数可）
②参加者と参加者番号をご記入の上、FAXまたはメールで株式グレイン・エス・ピーにお申し込みください。

【申し込み締切】
参加者確認書の発送日の1週間前までにお申し込みください。
※ご参加者数の確認のため、ご連絡致します。

○東京・大阪 来場予定チェック欄

| | | |
|---|---|---|
| ☐ | 東京会場（10/24～25） | 名 |
| ☐ | 大阪会場（12/12～13） | 名 |
| ☐ | 東京会場（2/6～7） | 名 |

○地方 来場予定チェック欄（1日目：展示商談会・セミナー、2日目：現地交流会）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ☐ | 札幌会場（11/29～30） | 名 | 名 | ☐ | 名古屋会場（9/29～30） | 名 | 名 |
| ☐ | 仙台会場（11/22～23） | 名 | 名 | ☐ | 京都会場（9/20～21） | 名 | 名 |
| ☐ | さいたま会場（9/6～7） | 名 | 名 | ☐ | 岡山会場（10/31～11/1） | 名 | 名 |
| ☐ | 金沢会場（12/7～8） | 名 | 名 | ☐ | 熊本会場（10/3～4） | 名 | 名 |

注意事項
●参加申込みをお申し込みいただきましたら、参加証明書（メールまたはFAX）にて、開催日の1週間前に、確認のご連絡を差し上げますので、メールで参加申し込みいただく場合、確認書を、ご連絡をなさずに当日の開催を必ずお出ください。
●展示商談会の会場には、自由に入れるものだけですが、セミナー会場、現地交流会会場に参ラ中ご了ーをすかず、申し込み場所確認のお申し出ください。
●参加者数は、当日、会場までの交通費は自己負担でお願いいたします。また、海外開催でのお日の開催交通費に参加するかは、別途、自己負担となりますので、あらかじめご了承ください。
●ご不明点、お問合せ事項等ご質問ください。　※開催ちなは、当日ご相談ください。

【お問い合わせ】
株式会社 グレイン・エス・ピー
（マッチングフェア2017事務局　担当：小沢）
〒110-0004 東京都台東区下谷2-12-5 浅草ビル5F
Tel：03-3816-0670　Fax：03-3816-0708
■メールでお申し込み・問合せは
kosaka-mapi@grainsp.co.jp

【詳しくはホームページをご覧ください】
あらためてフェア2017 検索 https://www.matching.com/

FAXにてお申し込みください
送信先FAX
03-3816-0708